

授業科目名	環境デザイン実習			科目コード	G3503P02		
英文名	Practical Training in Environmental Design						
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合						
職名	教授 教授 教授 教授 准教授		担当教員名	上坂 博亨 川本 聖一 大谷 孝行 高橋 ゆかり 繁宮 悠介			
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科			
曜日	木曜日		時限	3限目 4限目			
開講時期	3年前期		授業の方法	講義			
必修・選択	専攻必修		単位数	2単位			
授業の概要	社会学としての環境学を学ぶ上で必要な、自然環境・生活環境・社会環境の実際的取り扱いを実習をとおして学ぶ。また、富山県内の環境関連施設の訪問を通して環境学の社会実装にも触れる。						
キーワード	水環境	地域資源	住環境	聞き書き	調査レポート		
到達目標	学外での調査を通して自然環境・水環境・住環境について基礎的な計測方法と聞き書きの手法を身に付ける(40%)						
	調査結果を集計・分析して、客観的で論理的なレポートを作成する能力及び聞き書きの技術を身に付ける(40%)						
	県内各地の環境関連施設を視察し、社会の中での環境活動の実装について理解を深める(20%)						
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)						
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習			専門分野に共通する基礎知識の向上			
キー・コンピテンシー(重視する能力)							
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力			
教授方法(授業方法)							
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	環境デザイン実習のオリエンテーション（川本、上坂、高橋） グループ分けとチームビルディング、レポートの書き方（章立て・はじめに・先行研究・方法・結果・考察・まとめ・参考文献）、各章立てにおいて、どのようなことを記述するかについて解説し、本格的なレポート作成方法を習得する。WORDを利用してレポートを作成するために見出しを付けたひな形ファイルを作成する	
	【予習】シラバス、1年次に配られた「大学生活のためのツールブック」に目を通しておくこと	15分
	【復習】WORDファイルの作成を完了しておくこと	30分
第2回	集合：第1駐車場（12:40）出発12:45（上坂） 場所：〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦嶺寺ブナ坂68 内容：立山カルデラ砂防博物館でのテーマ別調査	
	【予習】富山県の環境施設について事前調査しておく	15分
	【復習】立山カルデラ砂防について事前調査しておく	15分
第3回	集合：第1駐車場（12:40）出発12:45（高橋） 場所：射水市中太閤山17-1（バス移動） 内容：環境科学センター見学とテーマ別調査	
	【予習】富山県の環境施設について事前調査しておく	15分
	【復習】見学レポート作成する	15分
第4回	集合：第1駐車場（12:40）出発12:45（川本） 場所：富山県富山市豊田本町1丁目68番35（バス移動） 内容：スマートハウスとまちづくりのSDGsを学ぶ	
	【予習】スマートハウスについて事前調査しておく	15分
	【復習】見学レポート作成する	15分
第5回	テーマ：日本の公害問題を自分ごととして考える（大谷） 富山で起こった4大公害病「イタイイタイ病」についての基礎知識を学び、イ病関係者の思いにできるだけ近づくために、書き書きという手法を用いて、作品を完成させる。その書き書き作品の作り方を学び、イ病関係者からの体験談を聞く。	
	【予習】実習のてびきに目を通しておくこと	15分
	【復習】授業中の説明についてよく理解しておくこと	15分
第6回	テーマ：富山市の水環境を体験する（高橋） 富山市内の環境水のpH、硬度、電気伝導度、水温を測定してその関係性について考える この時間には測定器の操作方法、測定方法、関係性についてのEXCEL分析方法について説明する	
	【予習】実習のてびきに目を通しておくこと	15分
	【復習】授業中の説明についてよく理解しておくこと	15分
第7回	テーマ：富山市の水環境を体験する（高橋） 富山市内の環境水のpH、硬度、電気伝導度、水温を測定してその関係性について考える この時間には実際に現地に赴いて採水および測定を実施する。また測定結果については教室にもどって整理する。	
	【予習】実習のてびきに目を通しておくこと	15分
	【復習】授業中の説明についてよく理解しておくこと	15分

第8回	テーマ：日本の公害問題を自分ごととして考える（大谷） イタイイタイ病関係者の体験談を聞き書き作品としてグループごとに完成さる。テープ起こしした文章を一人語りの文体に組み替えたうえで、グループごとに小見出し、文体などの面から編集作業をし、小冊子を完成させる。	
	【予習】実習のてびきに目を通しておくこと	15分
	【復習】授業中の説明についてよく理解しておくこと	15分
第9回	テーマ：身近かな森林資源・植物資源を調べる（繁宮） 大学近隣の森林において、プロット調査による森林の生育本数、胸高直径+B47:I52、樹高などの計測をとおして過密度評価を行う この時間にはプロット調査の手法と分析方法、ならびに評価方法について説明する	
	【予習】実習のてびきに目を通しておくこと	15分
	【復習】授業中の説明についてよく理解しておくこと	15分
第10回	テーマ：身近かな森林資源・植物資源を調べる（繁宮） 大学近隣の森林において、プロット調査による森林の生育本数、胸高直径、樹高などの計測をとおして過密度評価を行う この時間には実際に森林にはいって計測を行い、得られたデータを大学に持ち帰って整理する	
	【予習】実習のてびきに目を通しておくこと	15分
	【復習】授業中の説明についてよく理解しておくこと	15分
第11回	テーマ：CASBEEを用いた家屋の環境評価（川本） CASBEEの基準にしたがって自宅を調査し、グループごとに検討して家屋の環境性能について結論をみちびく この時間にはCASBEEおよび分析方法について学ぶ	
	【予習】実習のてびきに目を通しておくこと	15分
	【復習】CASBEEに従って自宅における環境性能を調査して記入しておく	15分
第12回	テーマ：CASBEEを用いた家屋の環境評価（川本） CASBEEの基準にしたがって自宅を調査し、グループごとに検討して家屋の環境性能について結論をみちびく この時間には各自の家で調査した結果を相互に交換して、分析を行う	
	【予習】実習のてびきに目を通しておくこと	15分
	【復習】授業中の説明についてよく理解しておくこと	15分
第13回	テーマ：日本の公害問題を自分ごととして考える（大谷） イタイイタイ病関係者の体験談を聞き書き作品としてグループごとに完成さる。テープ起こしした文章を一人語りの文体に組み替えたうえで、グループごとに小見出し、文体などの面から編集作業をし、小冊子を完成させる。	
	【予習】実習のてびきに目を通しておくこと	15分
	【復習】授業中の説明についてよく理解しておくこと	15分
第14回	4つのグループワークの実習の内、指定された1テーマについてプレゼンテーションを行う準備をする。（各教員）	
	【予習】4つのグループワークについて復習しておく、またデータや資料を整理しておく。	15分
	【復習】次週の発表に向けて発表資料を完成させておく	15分
第15回	最終発表会（1グループ1テーマについて発表する）（各教員）	
	【予習】発表の練習をしておく	30分
	【復習】特になし	

第16回	臨海実習（7/9-10）（希望者、高橋） 能登の海での磯採集、動物の観察・分類、ビオトープの観察などを通して海の生物の多様性について理解を深める。 金沢大学 環日本海域環境研究センター 臨海実験施設において1泊2日で実施する。	
	【予習】事前講義に出席し、海の生物についての理解を深めておく。	
	【復習】	

評価方法	実習に参加し、グループの中での役割を果たす事を必要条件とする。 グループ発表（30%）、実習レポート（4篇・40%）、学外見学レポート（4編・30%）で評価する		
使用資料 <テキスト>	実習の手引きを配布する	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	特になし		
授業外質問方法	研究室訪問と電子メールでの質問を受け付ける		
オフィス・アワー	（各教員のオフィスアワーに合わせる）		